



2025年度 医用画像システム部会 成果報告会

「革新的な画像情報システムの早期社会実装・有効活用への貢献」



一般社団法人 日本画像医療システム工業会 (JIRA)
医用画像システム部会
部会長 湯澤 史佳



【成果報告】

13:30～15:20

- | | | |
|------------------|----------|-------------|
| (1) 部会長挨拶・報告 | (湯澤 部会長) | 13:30～13:40 |
| (2) モニタ診断システム委員会 | (前田 委員長) | 13:40～14:00 |
| (3) セキュリティ委員会 | (堀野 委員長) | 14:00～14:20 |
| (4) DICOM委員会 | (中野 委員長) | 14:20～14:40 |
| (5) 画像診断レポート委員会 | (原 委員長) | 14:40～15:00 |
| (6) 企画・広報委員会 | (高野 委員長) | 15:00～15:10 |
| 休憩 | | 15:10～15:20 |

【特別講演】

15:20～16:20

「施設間画像情報連携の最前線」 ～画像情報連携の現実的な運用と今後の展望～

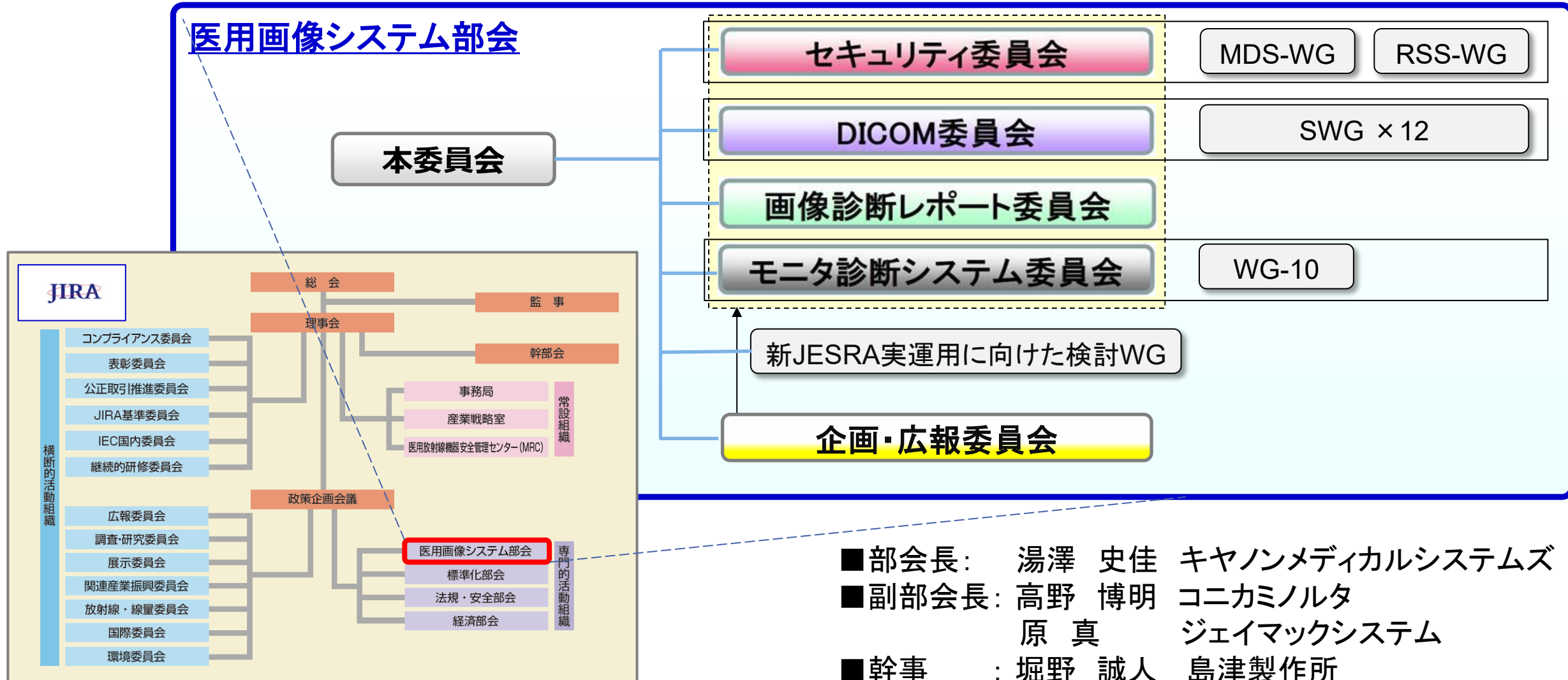
講師：大阪国際がんセンター 川真田 実 先生

司会進行：高野 副部会長

閉会の挨拶（原 副部会長）

～16:30

医用画像システム部会の組織



- 部会長: 湯澤 史佳 キヤノンメディカルシステムズ
- 副部会長: 高野 博明 コニカミノルタ
- 原 真 ジェイマックスシステム
- 幹事 : 堀野 誠人 島津製作所
- 事務局/システム部_部長 : 佐藤 彰

医用画像システム部会の組織

委員会名	活動内容
本委員会	医用画像システムの相互運用性と安全性、品質確保に関する標準規格・ガイドラインの策定と普及活動、さらには問題解決のための提言を国内外の関連団体と協調して推進する。JIRA産業ビジョンの実現を指針とする中期計画、年度毎の重要課題を策定し、部会活動を支援する。
企画・広報委員会	部会活動計画の企画、成果の周知及び啓発 <ul style="list-style-type: none"> - 企画・広報担当として、ホームページ運営、報告会の開催 - ITEM等企画展示への協力、学会誌等での部会活動の紹介
セキュリティ委員会	セキュリティ要件の明確化、医療情報の安全な取扱い <ul style="list-style-type: none"> - 国内外の関連規格/技術動向の情報交換と討議 - ガイドラインの策定や国際標準化
DICOM委員会	医学・医療機器の進歩に合わせたDICOM規格の展開 <ul style="list-style-type: none"> - DICOM規格の普及/画像情報関連規格の検討 - 専門家やユーザを交えた検討、DICOMセミナー活動
モニタ診断システム委員会	適切なモニタ画像診断の普及活動 <ul style="list-style-type: none"> - ガイドラインの作成や見直し、モニタ精度管理セミナー共催 - 普及活動、規格動向やモニタ品質管理の実態調査
画像診断レポート委員会	画像診断レポートの標準化、各ツールの開発 <ul style="list-style-type: none"> - 異なるシステム間でデータを交換する手順の標準化 - 普及促進のためのツール提供と広報活動

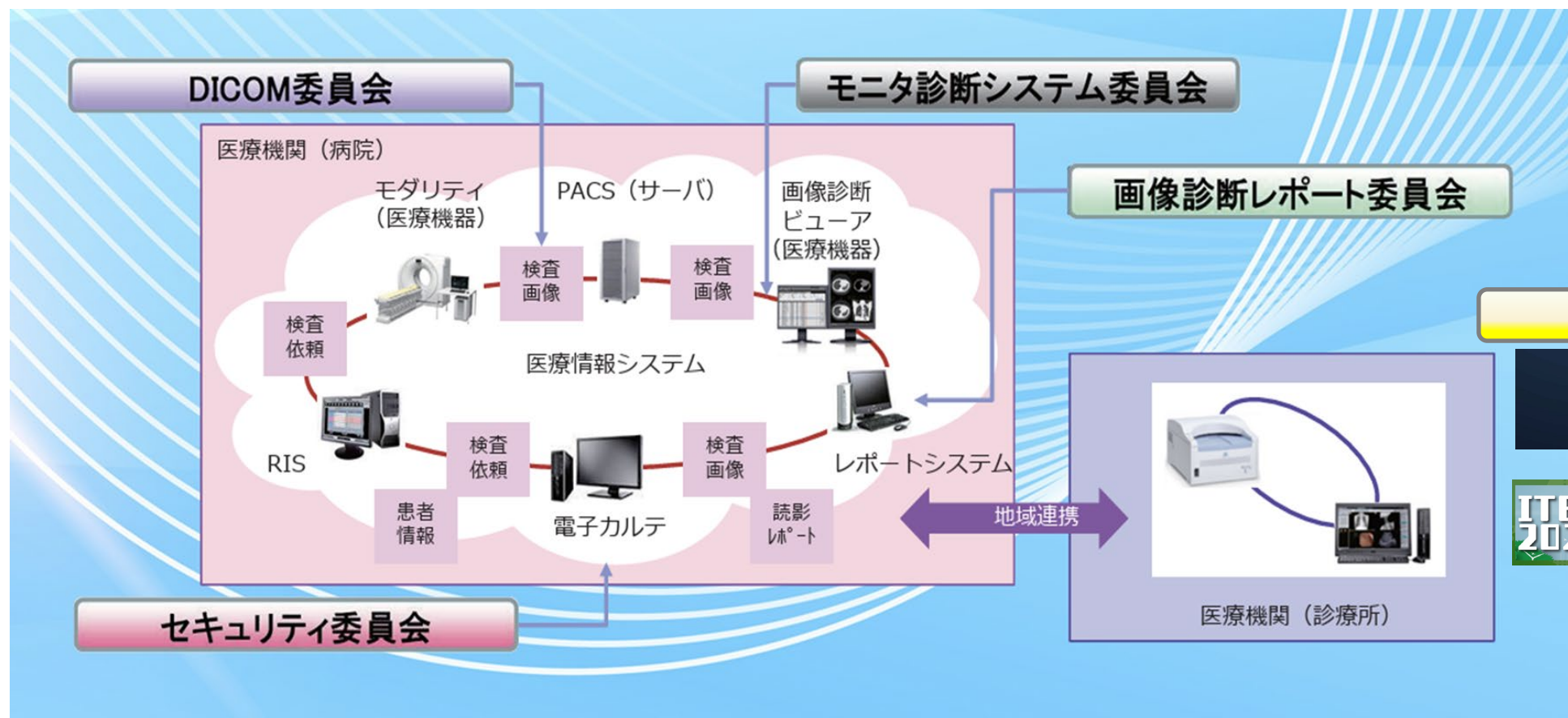


医用画像システム部会のミッション

JIRA画像医療システム産業ビジョン
2030

■ 医療ICT推進における課題への取り組み

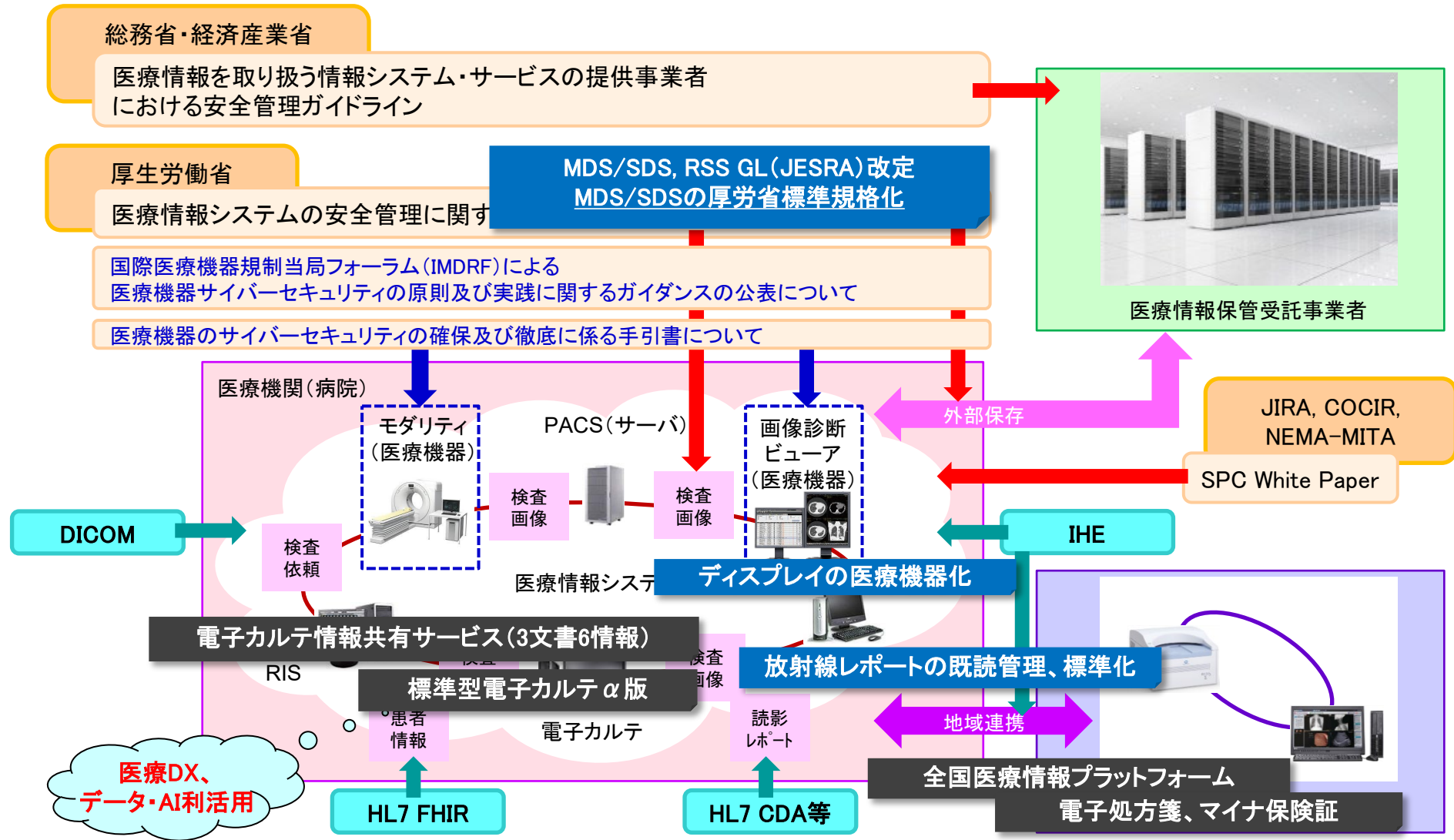
- ①標準化による相互運用性、安全性の確保 ⇒ 会員各社の製品開発(・販売)に寄与すること
- ②医療イノベーションの実現と画像医療システム産業拡大への貢献 ⇒ 中期(3年)計画
- ③革新的な医用画像システムの早期社会実装・有効活用への貢献 ⇒ 重要課題(2026年度)



企画・広報委員会

- 2024年度 中上級者向けDICOMセミナー
- SR(RDSR)のバリエーションに触れる
- JIRA CONFERENCE PARK
- JIRA主催セミナー (第4回: 12/17 (火) 開催) の参加登録はこちらから
- テーマ: 医療情報技術とセキュリティ MDS SDS、RSSガイドラインの改定
- ローテーションフリーな遠隔医療とセキュリティの両立
- ITEM 2025 国際医用画像総合展
- 12月13日(土) パンフレット配布
- ITEMウェブサイト 3/14-3/15
- DICOM Book Plus
- DICOM Book

①標準化による相互運用性、安全性の確保

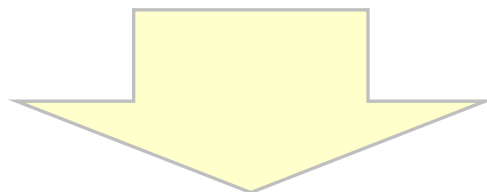
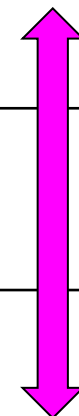


②医療イノベーションの実現と画像医療システム産業拡大への貢献

・医療DXによる**医療の質・安全性の向上** ⇒イノベーションを促進すべく、**3つの課題**へ対応

課題		対策	担当
安全	情報の安全性確保	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ・サイバーセキュリティ対策 ・個人情報保護(改正次世代医療基盤法) ・ヘルスソフトウェアの安全確保 	セキュリティ委員会 DICOM委員会 本委員会
	診断装置の最適化	<ul style="list-style-type: none"> ・機器更新、保守・アップデート ・モニタ精度管理 ・被ばく線量管理(システム) 	画像診断レポート委員会 モニタ診断システム委員会 DICOM委員会
質	医療情報の利活用	<ul style="list-style-type: none"> ・医療情報の正確で迅速な共有、ICT化、医療DX ・レポートシステムの適正化(標準化, 既読管理) ・デジタルヘルス・イノベーションの促進 	画像診断レポート委員会 DICOM委員会 本委員会

連携が不可欠



③**2026年度の重要課題**として、

「革新的な医用画像システムの早期社会実装・有効活用への貢献」

に取り組む。

③革新的な画像医療システムの早期社会実装・有効活用への貢献

医療情報の利活用・診断装置の最適化・情報の安全性確保

の3つの課題への取り組みによる「**医療の質・安全性の向上**」に加え、
医療・介護DXにおけるICT・クラウド技術を活用した

- ①新システムへの移行費用の上昇抑制
- ②情報セキュリティ・サイバーセキュリティ対策の負担軽減
- ③サービスが提供される体制の構築 などの

**医療イノベーションの創出とその早期社会実装・有効活用、
医療系ベンチャー企業等の支援に関する情報発信・提言を推進する。**



**2026
重要課題！**

※重要課題とのバランスを取りながら、

➤ モニタ精度管理、DICOM等、より高い専門性の要求される活動の継続、

➤ JIRAビジョン2030を見据えた、企画・広報活動

に取り組む。

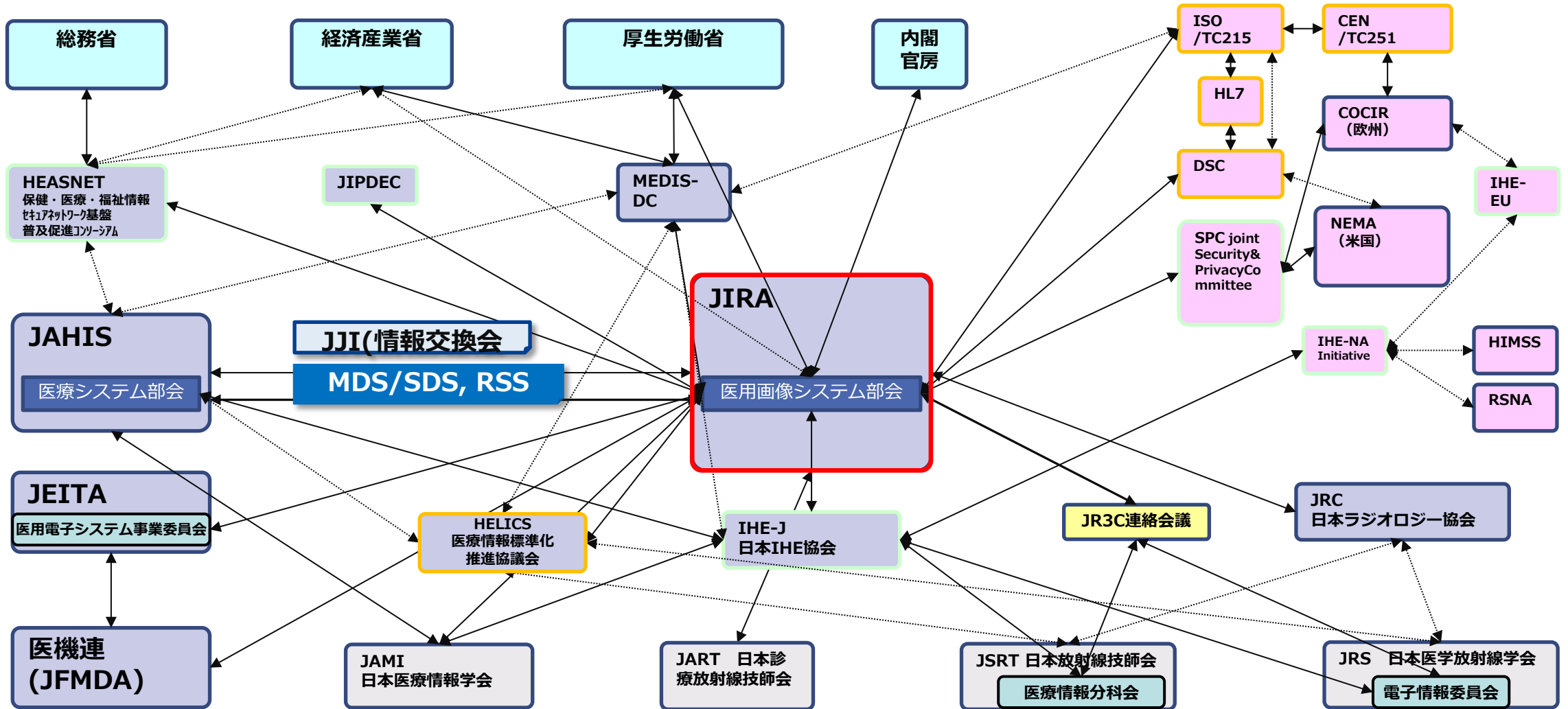
(再確認) JIRA産業ビジョン2030への対応

JIRA産業ビジョン2030(5つの柱)		2026年度の部会事業計画	担当委員会
1	JIRA産業の振興と関連領域との連携強化 ●社会の変化に適応した画像診断・治療等の技術探求と、その早期社会実装に向けた環境作り	<ul style="list-style-type: none"> ・JAHISとの合同WG、医機連WG、HEASNETへの参画。 ・アカデミア(JART/JSRT)との連携、HELICS/IHE-Jの活動支援。 ・JIRA会員/非会員、アカデミア、医療従事者等への教育・セミナー開催。(セキュリティ対策、DICOM規格、既読管理、モニター精度管理) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本委員会 + 全委員会 画像診断レポート委員会 モニタ診断システム委員会 DICOM委員会
2	【データが変える医療】の実現に向けた環境整備 ●データ収集・利活用についての業界側が抱える課題(法規制、国民の理解等)とその解決案の提案と推進	<p>【重要課題】 画像診断装置等における、さらなるイノベーションの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画像診断レポート関連の標準化(HL7/CDA, FHIR対応、2次利用)、データ収集・利活用のための相互運用性と安全性の確保。 ・医療機器を含むサイバーセキュリティ対策(MDS/SDS, RSS)に必要な仕組みの整備、運用の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・画像診断レポート委員会 ・DICOM委員会 + セキュリティ委員会 ・セキュリティ委員会
3	医療機器に即した法規制、保険制度の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器のサイバーセキュリティ(医機連WG、導入手引書/確保手引書)への対応。 ・画像診断用ディスプレイ(=医療機器)の診療報酬改定への取組。(・その他、医療法施工規則や施設基準への対応(技術的な検討)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ委員会 ・モニタ診断システム委員会
4	グローバル市場での競争力の強化 (関連取組み)	<ul style="list-style-type: none"> ・TC215 WG4/JWG7への参画。エキスパート派遣、国際標準化(投票、パブコメ)。 ・DICOM規格(CPack/LB/PC)への対応、JIRA発の提案の推進。 ・サイバーセキュリティ関連の各国法規、DICOM WG-14 等、情報収集。 	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ委員会 ・DICOM委員会
5	持続可能な医療を提供する産業構築 ●医療機関における医療機器のサイバーセキュリティ対応に必要な仕組み整備、運用の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器を含む情報セキュリティ・サイバーセキュリティ(MDS/SDS, RSS)。 ・DICOM WG-14 等、DICOM規格/線量管理(RDSR)。 ・モニター精度管理(GSDF)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ委員会 ・DICOM委員会 ・モニタ診断システム委員会

(再確認) JIRA産業ビジョン2030への対応

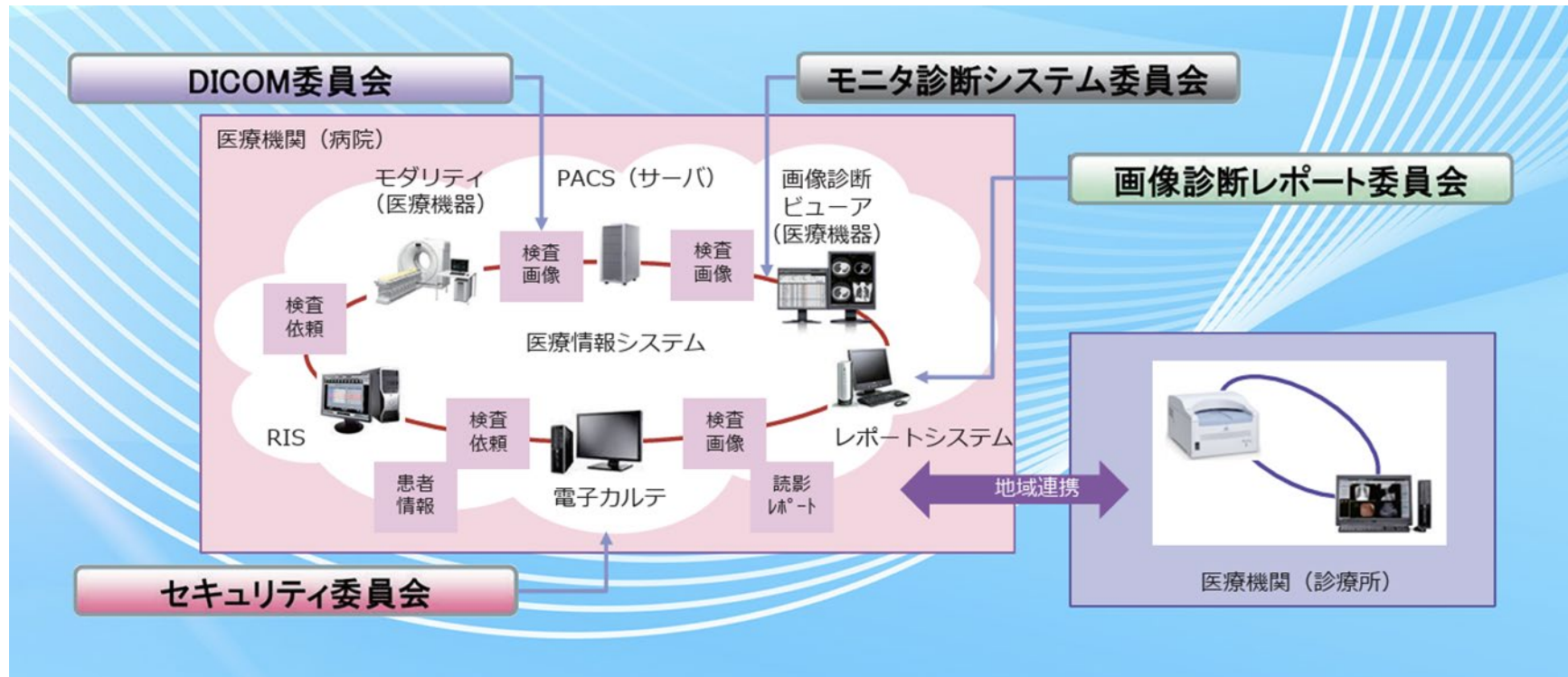
	セキュリティ委員会	DICOM委員会	画像診断レポート委員会	モニタ診断システム委員会
JIRA産業の振興 と関連領域との 連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・JAHISとの合同WG ・医機連/WG、HEASNET ・セキュリティー対策の講演 	<ul style="list-style-type: none"> ・JAHIS, JSRTとの連携 ・HELICS, IHE-J支援 ・DICOMセミナーの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・既読管理についての講演 -確認事項の説明 -導入事例の講演 	<ul style="list-style-type: none"> ・JSRT, JARTとの連携 ・精度管理セミナーの開催
【データが変える 医療】の実現に 向けた環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ対策 ・サイバーセキュリティ対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・JESRA策定・改定 -TR-0045, 47*A 	<ul style="list-style-type: none"> ・CDA GLの利用拡大検討 ・レポートの2次利用模索 ・マスターやコードの調査 	
医療機器に 即した法規制、 保険制度の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器のサイバーセキュリティ -導入手引書, 確保手引書 ・法規・安全部会/TF 	(線量管理 RDSR)	(HL7 FHIR対応検討)	<ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬改定への取組
グローバル市場 での競争力 の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・TC215 WG4/JWG7 ・DICOM WG14 	<ul style="list-style-type: none"> ・CPack/LB/PCへの対応 ・JIRA発の提案の推進 ・DSCでの活動報告 		
持続可能な医療 を提供する 産業構築	<ul style="list-style-type: none"> ・MDS/SDS、JESRAの改定 ・RSS、JESRAの改定 ・安全管理GL改定 	<ul style="list-style-type: none"> ・DICOM WG14 ・DICOM規格 ・線量管理 RDSR 		<ul style="list-style-type: none"> ・モニター精度管理

(参考)活動関係諸団体



お願い...

当部会は、会員企業から派遣される委員の方々の熱意と専門知識によって支えられております。これまでの多大なるご協力に深く感謝申し上げますとともに、今後ともより一層のご支援、ならびに委員派遣へのご協力をお願い申し上げます。



御清聴 ありがとうございました。



一般社団法人日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association